

平成 28 年度大学教育再生戦略推進費「大学の世界展開力強化事業」アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化

ASEAN と日本を繋ぐ
「グローバル・ソフトインフラ基礎人材」育成プログラム
実施報告サマリー

派遣期間	令和元年 10 月 1 日 - 令和 2 年 3 月 27 日
受入国	ミャンマー
連携大学	ヤンゴン大学
受入人数	2 名
参加学生数 (派遣先での相手国連携大学の学生、または受入時の本学の参加学生数)	講義補助員 TA 2 名 講義教員 4 名 コーディネーター教員 1 名
プログラム概要	大学院多元数理科学研究科では納谷信教授をコーディネーターとしてミャンマーのヤンゴン大学より大学院生 2 名の学生を Jasso の支援とも合わせて秋学期の半年間受け入れた。このプログラムでは別添のように、G30 プログラムや多元数理の英語講義聴講と合わせて、彼らの基礎数学を補強する講義やゼミ形式での専門書の購読も行った。2 名の学生は秋学期の全体を通じて、これらの講義をこなすとともに TA より演習をうけ、数学力を強化する。ミャンマーに戻ったあとに、この経験を数学教室の活動に波及させてくれることも目的としている。
スケジュール概要 (事前・事後の教育も含む)	令和元年 10 月 1 日 名古屋着 秋学期：講義と演習 令和 2 年 3 月 27 日 名古屋発
産学連携： 連携機関、企業、訪問先等	該当なし
成果報告 (学生の成長や相手国との連携について)	大学院多元数理科学研究科では、過去 3 年間で毎年 2 名の学生の長期受け入れをこのプログラムを通じて行っている。この 2 名の選抜においては、ミャンマーの中心大学であるヤンゴン大学の数学教室で、試験を行い優秀な成績者を選抜している。こちらで準備している講義・演習は密なものであるが、これによって、本年度も学生の基礎数学力は大きく向上した。将来のミャンマーの数学において中心的な役割を担い、日本との交流に資することが期待される。
実施部局	多元数理科学研究科
実施責任者	岡田聡一、大平徹

受入学生名：Soe Pyae Sone Tun, Han Nwai Nyein（両名とも女子学生）

特別講義内容

微分積分（担当：寺澤祐高准教授、松本耕二教授）

線形代数（担当：菅野浩明教授、石井亮教授）

セミナー（担当：納谷信教授）

演習 TA（担当：成田知将（M1）, Sun Qiwen(D1)）

		SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	8:45-10:15							
2	10:30-12:00		Linear Algebra I (H.Bachmann) C35	Seminar (S.Nayatani) A426		Linear Algebra Exercise Class (H. Kanno, A.Ishii) A426		
3	13:00-14:30		Tutorial class (K.Narita) 307	Perspetives in Mathematics (T.Ohira,S.Kondo,H.Ohta) 109			Tutorial class (K.Narita) A444	
4	14:45-16:15		*Calculus Exercise Class* (Y.Terasawa,K.Matsumoto) A426	Math Tutorial Ia, Ib (S. Richard&H.Bachmann) A407& A408	Pre-college math (S. Richard) C13			
5	16:30-18:00		Complex Analysis (E.Darpö) C13			Calculus I (S. Richard) C13		
6	18:15-20:00				Special Mathematics Lecture (S. Richard) A207			

Liberal Arts & Sciences Building (West Campus)

Science Building A

Math. Building

Notice

The first Calculus Exercise Class (4th period) will be conducted on Jan 16 (Thu)
 No class on Feb 17 ,but it (4th period) will be conducted on Feb 25 (Tue) instead.
 Seminar room is A442 (NOT A426) for Jan 16 & Feb 25.

講義風景の写真

